

臨床実習制度

時間	8時20分までに来てください
場所	当院1階医事課受付前
服装	学校指定のもの
持ち物	学生紹介用紙・出席票・評定票（初日）、院内用靴、訪問用靴、検査用具、必要な教材など
対象疾患	【運動器】 各種変形性関節症、各種骨折、頰椎症性脊髄症、各種ヘルニア、慢性関節リウマチなど 【脳血管疾患】 各種脳出血・脳梗塞、パーキンソン病、脊髄損傷など 【その他】 肺炎後やCOPDなどの呼吸器疾患、心不全、糖尿病、各種癌（術後や保存療法）、認知症など
食事	昼食140円にて提供可（事前に連絡必要） 弁当などの持参も可

臨床実習生の心構え

円滑に臨床実習を送るために臨床実習生は下記の心構えを意識し、実習に臨みましょう。

- ① 常に疑問を持ちながら診療参加を行う。『無知の知』という言葉がありますが、自分はまだまだ知らないことのほうが多いと感じることで素直に疑問を持つことができます。
- ② 自分の疑問を解決し、臨床教育者（CE：Clinical Educator）の考えを知ることができるように質問は積極的に。『聞くは一時の恥じ、聞かぬは一生の恥じ』と昔からよく耳にします。学生生活の臨床実習期間は長いようで短いため、貴重な時間を有効に過ごせるようにしましょう。
- ③ CEに質問する際は、まず自分の考えや意見を述べるようにしましょう。
- ④ 患者様に対して『自分の立場で患者に貢献できることは何だろう？』と考えながら診療参加を行う。また、自ら患者様と関わる機会を作ることに心掛けましょう。
- ⑤ 未解決の疑問や課題に対し、文献や教科書などを用いて積極的に予習や復習を行きましょう。
- ⑥ 毎日の行動目標をたて、スケジュールを組んで取り組んでみましょう。『今日は〇〇の機能を知るために、〇〇の測定をしたい』と具体的な目標をたて、一日のスケジュールをCEに確認してもらいましょう。
- ⑦ 臨床実習は社会人生活を行うための練習の場でもあります。患者様、家族様、病院職員に対して社会人としての礼儀および節度のある言動・態度をおこなうとともに、決められた規則を守りましょう。

